

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
220002	X-13/33-B-2-220002						
授業科目	担当教員						
情報検索	宇田 隆幸	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	× × × × 専門 専門	× × × × 選択 必修	× × × × 2年 2年
				授業目的			

情報検索の目的は、求める情報（情報要求）に対する結果（情報応答）を得ることにある。結果を得ること、しかし、情報検索には様々な課題がある。特に、網羅性、適合性を高めることが重要であるものの難しい。網羅性を高めるには、検索範囲の拡大（様々な情報源）、適切な検索キーワードの指定を始めとして多くの専門技術が要求される。また、適合性は網羅性と背反する関係（トレードオフ）にあるため、同時に適合性と網羅性を高めることはさらに難しい。本講義では、検索理論・検索機構・検索システムの性能評価方法などの基本を学ぶ。さらに、様々な検索対象ごとの検索方式、キーワード指定の方法、検索結果の優先順決定方式などを学ぶ。最後に、適合性向上に対する技術（機械学習・深層学習の基礎）、情報検索と表裏をなす情報推薦機構について近年の動向を学ぶ。これらの結果として、図書館利用、調査活動、課題解決活動、研究活動に向けた情報活用能力を習得する。

各回の授業内容

第1回	【授】 情報検索・情報アクセス技術の概論 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べること。	第9回	【授】 検索－特許・マルチメディア 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べること。
第2回	【授】 情報検索システムの構成 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べること。	第10回	【授】 検索－Web・ランキング 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べること。
第3回	【授】 文書の収集と変換 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べること。	第11回	【授】 検索－統合検索（ディスカバリー・サービス） 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べること。
第4回	【授】 索引の重み付け（ベクトル空間モデル） 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べること。	第12回	【授】 情報検索システムの性能評価 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べること。
第5回	【授】 検索モデル 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べること。	第13回	【授】 連想検索・機械学習（分類とクラスタリング） 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べること。
第6回	【授】 検索－書籍 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べること。	第14回	【授】 情報検索と情報推薦 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べること。
第7回	【授】 検索－雑誌と新聞 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べること。	第15回	【授】 情報検索の未来像／定期試験 【前・後】 予習に4時間。事前学習として配布資料を精読し不明点を調べること。
第8回	【授】 検索－論文・論文の引用 【前・後】 予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として配布資料を精読し不明点を調べること。	第16回	

成績評価方法

期末試験は各講義に沿った問題を数題出題し全問の解答を求める。成績は期末試験結果（80%）と講義途中の提出レポート（20%）で評価する。課題の解法および参考答案を講義時に説明する。最終課題および期末試験については、参考解答をCampusmateに掲出する。

教科書・参考書

プリントを配布する。参考文献は毎回、講義の中で紹介する。

受講に当たっての留意事項

配布物を精読し、分からぬ用語を整理すること。毎回の講義で課す課題や演習の全問に解答すること。講義出席のみでは理解できない。	
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性
○	大学図書館や専門図書館に向けた学術書・専門書の選書員。情報推薦検索エンジン研究・設計・開発経験（特許が1件、論文が20件超）。

学習到達目標

図書館利用、調査活動、課題解決活動、研究活動に向けた情報活用能力を習得する。

各回の講義内容を学修して授業目的に記載した事項を習得する。

JABEE

関連する学習・教育到達目標：E、G

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習